

谷藤正三先生は、道路技術の進歩が急務であった時期に建設省（現 国土交通省）の要職に就き、多くの難題に取り組み、北海道開発事務次官まで勤められました。また1961（昭和36）年には日本大学理工学部に通工学科（現 社会交通工学科）を創設し、教授として教鞭をとられました。

わが国の道路計画や交通計画に携わった技術官僚として、工学教育を進めた教育者として、そして建設コンサルタント会社を設立し実務に携わりながら会社を運営した経営者として、谷藤正三先生の3つの側面に焦点を当てます。

CST MUSEUM 史料群

- 史料③ 関東大震災の歴史的記録
- 史料④ 軽飛行機N-58 Cygnet (模型)
- 史料⑤ フェロセメント・ヨット
- 史料⑥ 海幸橋ヒンジ
- 史料⑦ ダウンウインド型風向風速計
- 史料⑧ 潮流発電装置
- 史料⑨ NU-102風力発電装置
- 史料⑩ 『旧三菱一号館』復元のための煉瓦壁試験体
- 史料⑪ 高品質リサイクルコンクリート壁試験体

※史料⑩⑪は、駿河台キャンパスでご覧いただけます。

CST MUSEUM

日本大学理工学部科学技術史料センター
船橋キャンパス 5号館2階

CST 日本大学理工学部

船橋キャンパス

〒274-8501 千葉県船橋市習志野台 7-24-1

アクセス

東葉高速鉄道（東京メトロ東西線乗り入れ）

【船橋日大前】駅下車 西口徒歩1分

<http://www.cst.nihon-u.ac.jp/>

